

墨田区のお知らせ2012.6.21 NO.1678 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…男女共同参画に関する意識・実態調査
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●6月25日：駒形橋が竣工した日  
 関東大震災後の復興計画の一環として、昭和2年のこの日、駒形橋が架橋された。橋の途中にバルコニーがあるほか、橋の中央部分はアーチが上に、両端部分はアーチが下にある構造が特徴。



<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## 「あなたの喜ぶ顔が見たい」そんな気持ちを大切に すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム

地域で安心して幸せに暮らし続けるためには、隣近所の方々と一緒に人生を楽しんだり、困ったときに助け合ったりする“人と人とのつながり”が大切です。区では、このような“地域ぐるみの福祉”を推進・実践するため、「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を、今月30日に開催します。

### “地域ぐるみの福祉”を、みんなで実践しましょう

地域で誰もが安心して幸せに暮らし続けることができるよう、支え合い・助け合いといった“人と人とのつながり”を大切に、“地域ぐるみの福祉”を進める考え方のことを「地域福祉」といいます。地域での見守りやふれあい活動を通じて、

人と人・地域の温かなつながりを創り出すことは、高齢者の孤立化や、子どもへの虐待など、様々な問題の防止や解決につながります。

区では昨年策定した「墨田区地域福祉計画」に基づき、地域福祉を推進する様々な取組を進めています。

### “学ぶ”から“実践する”につなげる催しを開催します

地域福祉の推進・実践には、区民、町会・自治会、ボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、区などが、地域福祉の担い手として、それぞれの役割を果たしながら連携・協働していくことが重要です。

そこで、地域福祉の実践とボランティア活動への参加を広く呼び掛けるため、地域福祉の担い手と一緒に学び、考え、交流していただく「す

みだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を、今月30日に開催します。

このフォーラムにお越しいただき、すみだならではの“人と人とのつながり”を大切にした“地域ぐるみの福祉”の実践に向けて、一歩踏み出しましょう。

【問合せ】▶厚生課厚生担当 ☎5608-6150 ▶すみだボランティアセンター ☎3612-2940



隣近所で支え合い、助け合う「小地域福祉活動」で、みんなの笑顔が広がります(千歳三丁目の小地域福祉活動「千三ふれあいハート」のお茶サロン)

すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム  
6月30日(土)午後1時半～5時 \*開場は午後1時

- ところ すみだ中小企業センター(文花1-19-1)
- 内容 ▶第一部(午後1時半～3時半)＝講演「地域福祉の実践とボランティア活動」(講師/神奈川県立保健福祉大学名誉学長 阿部志郎氏)、トークセッション ▶第二部(午後3時40分～4時40分)＝課題別交流会 ▶ボランティア活動PRコーナー(民生委員・児童委員、ボランティアグループなどの活動内容や、小地域福祉活動についてのPR展示) ▶おもちゃサロン
- 入場料 無料
- 申込み 当日直接会場へ \*1歳～小学生の子どもの一時的保育を希望する場合は、電話で6月27日までに問合せ先へ



地域福祉を実践している方にお聴きました

一歩踏み出すと、新たな出会いや発見があります  
「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」のトークセッション出演者 稲村達朗さん

区内の地域福祉施設「興望館」で、学童クラブ・保育園に通うお子さんや、昼食会に集まった高齢者のお手伝いをする「学生ボランティア」として、3年間活動していました。活動中は、「自分に何ができるのか」をよく考え、行動するよう心掛けていました。自分が施設に行くと笑顔になってくれる方や、待っていてくれる子がいて、受け入れてもらえることがとてもうれしかったです。

“ボランティア活動に興味はあるけど、始めようか迷っている”という方は、まず一歩踏み出してみてください。



ください。ボランティア活動をしていなければ巡り合うことができなかったような人に出会えたり、“地域の温かさ”や“人と人とのつながり”を強く感じられたり、きっと新しい発見があると思いますよ。

地域福祉の大切さを実感している方にお聴きました

みんなが待っていてくれるから、長生きしなきゃ！  
千歳三丁目の小地域福祉活動「千三ふれあいハート」のお茶サロン参加者 遠藤みつさん



毎週のようにお茶サロンで、みんなとおしゃべりしたり、歌ったり踊ったりして、おなかの底から笑うことができます。このサロンを運営

してくださっている地域のボランティアの方々には、こんな素敵な“出会いの場”を作っていただけて本当に感謝していますし、私たちが笑顔にしようという温かい気持ちが伝わってきて、とてもうれしいですね。今は一人で暮らしていますが、サロンに参加して知り合った方がたくさんいて、ご近所で会ったときにもお話しできるので、寂しくないんですよ。

このサロンでは、みんなが待っていてくれるし、声を掛けてくれるから、人生楽しく、頑張って長生きしなきゃと思います。



「千三ふれあいハート」の母の日企画で、カーネーションの花束と、緊急時に助けを求めるときの笛をいただきました